

Ambitious

アンビシャス100人の仕事

2025年秋冬号

Vol.25

高校生の進路と向き合う

文化・芸術

公務員

国際・教育

IT・モノづくり

くらし・生活

医療・生命

キャリア教育マガジン

27人の
先輩が登場

「好き」「楽しい」が、進路選びにつながる理由。

クリエイティブの可能性を追究する仕事

無線通信で空の安全を守る

人道支援の最前線から現場の声を伝える

子どもたちに学ぶ楽しさを伝える商品の開発

自動車の設計開発で社会を豊かに

患者の心と身体に寄り添う看護

表紙撮影協力：東京学芸大学(2025年撮影)

ワークシート

ワーク

1



先輩たちの
体験談を見てみよう
本編から
将来のヒントを
見つける

本誌「アンビシャス」で印象に残った先輩は誰？

2人書き出して
みよう!!

1	職業	No.	先輩名	先輩
この先輩のココがすごい!				
.....				
.....				

2	職業	No.	先輩名	先輩
この先輩のココがすごい!				
.....				
.....				

ワーク

2

自分の情報を整理する
自分の将来に興味を持とう!!



記入のPOINT

STEP1: あなたの夢や目標 (現時点の進学先や職業のビジョン)

.....
.....

STEP1は
あなたの現時点での希望を記入しよう!

- 「将来やりたいことや学びたいことが
ぼんやりしている人」
→どんな学生生活を送りたいか書こう!
- 「学びたいことがあるから進学したい人」
→学部・学科名を書こう!
- 「将来やりたいことのために進学したい人」
→将来の仕事・職業を書こう!

STEP2: なぜなら (上の「夢や目標」につながったと思う理由やきっかけ)

.....

STEP2は

STEP1の「夢や目標」の理由を
書こう! ヒントになった出来事や
きっかけとは?

STEP3: だから (実現するために必要なこと)

●
●
●

STEP3は

STEP1の「夢や目標」を実現する
ために必要な資格や進路などの
条件を箇条書きにしよう!

STEP1 先輩の話をまとめてみよう!

1 具体的な職業名:

職業の特徴:

2 大学選びのポイント:

3 仕事内容:

STEP2 気になるメモ・感想・まとめ

1 この先輩への疑問・質問:

2 気づき・感想:

働くってどういうこと?どんな「働く」がある?自分にできることって何?

社会人の出前授業を募集します

総合学習の授業を使ってアクティブラーニング

アンビシャスの授業は都立校卒業生がメイン

都立高校に「都内で活躍している先輩」を派遣して、「なぜ高校で勉強をするのか」「将来に繋がる大切な時期」をテーマに授業時間を使い出前授業を実施します。



応募
方法

社会人講師を呼んだ特別授業をご希望の先生は

①学校名 ②ご氏名 ③連絡先

を

info@amb100.com

まで

ものづくりへの情熱と表現力を武器に ユーザーの心に届くデザインを

働く

DeNA

迷ったら、
即挑戦!!

「好き」から始まった ものづくりの道

幼い頃から絵を描いたり手芸をしたりすることが好きで、高校では美術部に所属していました。担任の先生から「大学にも美術を学べる学部がある」とアドバイスされたことが、「美術を進路にする」という選択肢を考えるきっかけに。また、叔母が着物好きだったことや、家族旅行で伝統工芸品に触れる機会が多かったことから、ものづくりへの関心も深まり、東京藝術大学の美術学部工芸科へ進むことを決めました。

才能に打ちのめされて見つけた 自分の「ものづくり」

大学では、同級生たちの圧倒的な才能と情熱に打ちのめされ、「自分は何を作りたいのか」がわからなくなる時期がありました。しかし、自分と深く向き合う中で、私はアーティストとして自己表現を追求するよりも、「人のためにものを作りたい」という思いが強いことに気づきました。誰かを喜ばせたり、思いを共有したりするためのものづくり。

才能豊かな仲間たちと切磋琢磨する環境だったからこそ、この自分なりの答えに辿り着けたのだと感じています。

コンセプトを形に ゲームの世界観をデザインする

大学での学びと並行して、アルバイトではアニメーション制作に携わり、制作物に対して反応が返ってくることの面白さを知りました。その経験から就職活動ではゲーム業界を志望。現在は「逆転オセロニア」というスマホゲームのUIチームに所属し、画面設計をはじめ、イベント告知やSNS画像など幅広くデザインを担当しています。プロダクト・コンセプトを深く理解し、アウトプットする姿勢はまさに大学での作品制作の経験そのもの。「使いやすい、分かりやすい」デザインとは何かを常に考慮し、コンテンツの価値を高めるUI/UXを追求しています。リアルイベントでユーザーの方々の熱量に触れた時や、デザインへの良い反応をいただけた時に、大きなやりがいを感じます。

自分の選択に自信を持ち 何事にも挑戦を

これから進路や就職など、人生の大きな決断をする場面がたくさんあると思います。その時はぜひ、あなたが「これが私が選んだ道だ」と胸を張れる選択をしてください。自分で選んだ道だからこそ、困難な壁にぶつかった時にも「もうひと踏ん張りしよう」という力が湧いてきます。そして「やりたい」と思ったことには、しり込みせずに挑戦してみてください。学生時代の挑戦は、どんな結果であれ、必ず自分の力になります。皆さんの未来を応援しています。



企画意図を汲み取り、作品の魅力をデザインで表現。ユーザーの反応が原動力です。

素材と対峙しながら作り、考え、
新たな視野を拓ける。

【学生課入学試験係】050-5525-2075



@tokyo_geidai



@tokyo_geidai

関連キーワード ゲーム・エンタメ・デザイナー



DeNA



株式会社
ディー・エヌ・エー
ゲームサービス事業本部
開発運営統括部
デザイン部クリエイティブ
第四グループ
<https://dena.com/jp/>

東京藝術大学
美術学部 工芸科 卒業

福澤 明日香さん
UIデザイナー

AMBITIOUS #370



東京藝術大学





働く

テレビ番組に救われた経験から 多くの人に幸せを 映像から届けたい

【再び笑うことができたテレビ番組
映像の持つ力に惹かれた高校時代】

高校1年生のときに、父を亡くしました。辛い日々が続き、何もやる気が起きない、そんな毎日を過ごしていました。ある時、無気力にバラエティ番組を観ていたら、「ふふっ」と笑ってしまいました。一瞬で人に笑顔を作り、楽しい気持ちにさせてくれる映像の力に感動しました。そして大学では映像のことを深く学びたいと思うようになり、日本大学芸術学部への進学を決意しました。

【面白い番組を作りたい！
大学時代の経験が今に生きる】

同じ志を持つ仲間と共に朝から晩まで自主制作に励んだ大学の経験が仕事で糧となっています。お金が無いなかで、アイデアを出し合って撮影し、コスパという概念もなく、自分たちが納得するまで編集作業を行いました。教授たちも制作のために編集室の使用を許可してくれるなど、多くのサポートをして頂きながら私たちの活動を応援してくれまし

た。授業ではテレビ番組のディレクターを任せてもらえるなど、大学での学び、経験が今の仕事で大いに活かしています。

映像制作のおもしろさ



大学時代に体験した「チームでつくる」映像制作の楽しさは、仕事の軸になっています。

私は現在、さまざまな事業のプロモーションやエンゲージメント動画を企画から完パケまで推進するディレクターが所属する部署で、マネージャーを務めています。クリエイティブの責任者として日々やりがいを持って取り組んでいますが、特におもしろいのは企画段階から「どう話題化するか」「どうリーチさせるか」「どうエンゲージメントを高めるか」といった制作の範囲を超えた領域まで担える点です。映像は視聴者の

反応が結果となってダイレクトで自分たちに返ってくる。これがこの仕事の醍醐味です。

“好き！得意！”を武器にしよう

クリエイティブやデザインのお仕事は自分の「好き！」「得意！」を活かせる、やりがいのある仕事です。日常のなかで色やカタチ、音が気になる、ついパッケージや広告の細部に目がいってしまう、ものづくりへのこだわりが強く、好奇心や興味が行動に出てしまう人にはお勧めの仕事です。デザイン系に限らず、どんな分野でも自分の「好き！」「得意！」は立派な武器になります。ぜひ、自分の感性や強みを信じて、未来の道を切り拓いていってください。



大学時代は、友人や仲間と一緒にいろいろな映像コンテンツを自由に制作してください！



MIXI



株式会社MIXI

デザイン本部 動画クリエイティブ室
コンテンツディレクショングループ
マネージャー
<https://mixi.co.jp/>

放送を担うにふさわしい自由で豊かな
創造力と表現力を持つ人材の養成

【学務部入学課】03-5275-8001



自主創造
日本大学



LINE @nihon-u.nyushi

関連キーワード プロモーション企画・マーケティング・映像制作

日本大学

芸術学部
放送学科 卒業

折原 綾平さん
クリエイティブディレクター

AMBITIOUS #371

多摩美から アートディレクターへの道

つくることが好きな気持ちを仕事に

働く

楽しいと
思えることを!!!

幼稚園で決めた将来の夢

小さい頃から絵描きが大好きで、幼稚園の頃に母から「イラストレーターの仕事があるよ」と教えられて以来、美術の道を志すようになりました。高校生の頃にはグラフィックにも興味を持ち、卒業生の活躍を知るうちに、多摩美術大学グラフィックデザイン学科への進学を決めました。

同級生から刺激を受けつつ
自分と向き合う貴重な時間

大学での最も貴重な経験は、芯のある個性的な仲間と切磋琢磨したこと。お互いの作品に刺激を受けながら、「自分は何者で、何を表現したいのか」と問い続ける日々でした。卒業制作では、5人組の土偶バンドが踊るアニメーションを制作しました。くすっと笑える作品を追求したいという気持ちは、自分らしさを育ててくれた大学での時間があってこそだと思えます。

「みんなで考える」面白さ

就活を始めた当初は、イラストレーターやグラフィックデザイナーを目指していましたが、インターンを経験して考えが変わりました。一人で作業するのもいいけれど、いろいろな人と話し合いながらアイデアを練り上げる作業にもやりがいを感じるということに気付いたのです。その後、電通のサマースクールで「みんなで考えて新しいものを作り上げる」面白さを実感し、志望を決めました。

やりがいを感じる瞬間

現在は、アートディレクターとして企業の広告のビジュアルデザインを中心に手がけています。動画への関心から、CMの企画構成にも携わるようになりました。なかでもやりがいを感じるのは、チャレンジングな提案をクライアントが「面白い」と受け入れてくれたとき。一緒にその感覚を共有し、形にできた瞬間は格別です。

根っから考えて、
新しいものを作る

広告業界で働く人は皆、「どうすればより良いものが作れるか」を真剣に考えています。特に電通は、「これは本当に正しいか」「何をすれば最も効果的か」といった根っこの部分から物事を考え、形にできることが魅力です。複雑化する社会課題に対して、クリエイティブな発想から何ができるのかを日々考えています。



物事や表現に真剣に向き合いながら、新しい広告のかたちを日々探っていきます。



dentsu

電通グループ

株式会社電通

第1クリエイティブプランニング局
<https://www.dentsu.co.jp/>

多摩美術大学

美術学部
グラフィックデザイン学科 卒業

萬田 翠さん

アートディレクター/映像プランナー

AMBITIOUS #372

ビジュアルデザインの各分野で、
日本を代表する人材を輩出

[教務部入試課] 042-679-5602



@tamabi_kikaku



@tamaartuniversity



多摩美術大学



関連キーワード 広告・イラストレーター・アートディレクター・マーケティング



"伝わる"を考える

「美術プレイヤーとして食べていく」

「吹奏楽に打ち込む様子を見る限り、君はプレイヤータイプだ。」絵を描くことが好きだった私が美術教諭を目指そうかと進路相談した教師の一言で、私の進路は決まりました。プレイヤーとして食べていける道を探してみると、就職率の高いデザイン科が見つかりました。志を同じくする友人に紹介してもらった美術予備校で受験の準備をして、武蔵野美術大学に入学しました。

「学びは「好き」を突き詰めた」

大学のカリキュラムは1年生で絵画から彫刻まで幅広い視点からデザインについて学び、2年生以降で専攻を絞っていく流れ。私はもともと読書が好きだったこともあり、エディトリアルデザイン(雑誌・書籍など紙面のデザイン)を専攻しました。ブックデザインの歴史を学ぶ内に日本の古書のデザインへの興味が高まり、卒業制作では和紙を徹底的に深

掘り。工房を取材し、実際に和紙を作り「和紙とは」というテーマで本にまとめました。リサーチや体験にもとづき、本質を見抜いた上で情報を整理することを大事にした武蔵野美術大学での学びは、現在の仕事にも生かされています。

「私の仕事で人々の毎日を彩る」

就職活動では、新聞社の中でもデザイン部の仕事が豊富な朝日新聞を志望しました。私が新聞社を選んだ理由は実用性。「実生活で役に立つもの」に関わりたいという思いがあり、大学で学んだデザインの力が毎日の生活に活かされる場合は新聞だ、と考えました。最初の3年間は新聞に載るインフォグラフィック(データなどを視覚的にわかりやすくする表現)などを制作していました。記事の形は速報から時間をかけて作る特集までさまざまです。現在は朝日新聞デジタルの特集コンテンツを制作しています。参院選では、質問に答えると自分の支持政党がわかる「ポー

トマッチ」のデザインをしました。SNSで拡散され、大きな反響を受けたことは強く印象に残っています。

「わかりやすさのために泥臭く働く」

この仕事に向いている人は、何にでも興味を持てる人です。内容に合わせてわかりやすく、魅力的なコンテンツを作る方法を模索する意欲と能力が活きる場所だと思います。仕事を進めていく上では判断力とコミュニケーション能力も必要です。速報などは短時間で制作する必要があるため、言葉を尽くして泥臭くコミュニケーションを行うこともデザイナーの仕事のうちです。

「まだまだ知らない仕事がたくさんあるハズ」

将来の夢がないということは悪いことではありません。世の中には自分の知らない仕事がいっぱいあります。「夢がないから無難な進路に」と思うのではなく、少しでも興味が湧いた方向へ動くことで道が拓けると思います。

記者が集めた情報は私のデザインを通して
分かります。すぐ伝わりていく



株式会社朝日新聞社
編集局 デザイン部
<https://www.asahi.com/corporate/>

武蔵野美術大学

造形学部 デザイン部
視覚伝達デザイン学科 卒業

山市 彩さん
情報デザイン

AMBITIOUS #373

社会の変化と
視覚伝達デザインの使命

【入学センター】042-342-6995



@musabi_koho



武蔵野美術大学



関連キーワード グラフィック・報道・出版・新聞記者・新聞編集者

働く

興味を広げ、自ら知識を深めることで 新たな出会いや機会に繋がる！

誰かと繋がる
きっかけ

夢中になったモデル製作の授業

幼少期から絵を描くことやプラモデル作りが大好きでした。また、車にも興味を持ち、カーデザイナーを目指してプロダクトデザインが学べる大学を探しました。そして、アットホームな雰囲気になれ東京造形大学に進学を決意。そこでは当初学びたいと思っていたプロダクトデザインだけでなく、コンセプトデザインや建築に触れる授業も受け、自分の興味の幅が広がっていくのを実感する日々を過ごしました。中でも特に印象深かったのはモデル製作の授業で、さまざまな材料や技法を駆使して自分のアイデアを形にする過程で、技術的スキルだけでなく、美的センスや想像力も養えました。この授業に夢中になり、クラスで「一番モデル製作が上手!」と言われた経験は、現在デザインに関わる者としての自信に繋がっています。

お客様一人ひとりのニーズに応えたい
「モノを形にする」ことに夢中に

なっていた大学時代、私には特別な友人がいました。彼は年齢や大学外の人々とも広く交流し、知識を広げるタイプでした。ある授業で彼とモデル製作やデザインについて話し、それをきっかけに課題を一緒に話し、授業後もデザインについて語り合いました。彼の高い制作力に触発され、デザインについてより深く考えるようになりました。それは、カーデザイナーを目指していたものの、社会のニーズや問題解決よりも、一人ひとりのニーズに合わせたモノづくりに興味を持つ一つのきっかけとなり、現在の仕事との出会いに繋がりました。

挑戦と成長を支ええる 大学での経験

現職の原型課では、デザイナーが作成したジュエリー図案をもとに、3DCADを使用して原型を制作しています。オーダーメイド製品を扱っているため、同じものを繰り返し作ることはありませんが、大学時代に得たデザインの知識も活かしつつ、制作後には他部署と出来上

がりを確認し、次回に何を活かすべきか、さらにお客様に満足いただくにはどの技術を磨くべきかを話し合っています。他部署と常に協力しながら進めることで、技術力と造形力の向上、そしてCADの使い方も上達していると実感しています。デザインだけでなく多くの知識を得ることができた大学生活のすべてが、現在の職場でも活かしています。

多くの出会いと学びを大切に

多くの出会いや経験を通じて「物事をさまざまな角度から見ること」の大切さを学びました。興味を持てないかもしれないと思った授業でも真剣に聞くと、意外なところで面白さを見つけられます。そこから疑問に思ったことをついて調べたり、苦手かなと思うことにもチャレンジしてみる。私は東京造形大学でそのような志を持った同志にも出会えました。興味を広げ、自ら調べて知識を深める！すべての経験が未来のあなたに繋がると思います。



株式会社ケイ・ウノ
製造部 原型課
<https://www.k-uno.co.jp/>

東京造形大学

造形学部 デザイン学科
インダストリアルデザイン専攻領域 卒業

池田 悠人さん
3D CAD製作

AMBITIOUS #374

幅広い分野で人々の生活を豊かにする、
創造性豊かな表現力を身につける



【進路支援課】042-637-8716



@TokyoZokeiUniv



tokyo_zokei_univ_official

✉ Tokyo Zokei University



関連キーワード プロダクトデザイン・3D CADモデル製作・ジュエリーデザイン

働く

自分の“軸”
を持つこと何もないところから形を作る
表現の可能性が
無限大にある仕事

「この先生のもとで学びたい！」

私はもともと絵を描くことが好きで、高校では部活や体育祭でのデザインも手がけました。自分の考えたデザインに周囲が喜んでくれることにやりがいを感じ、美大進学を志しました。その中で女子美術大学を選んだのは、尊敬するアーティストである眞田先生の実在です。先生の著書や作品に触れていた私は、“この先生のもとで学びたい”という強い想いを抱き、女子美大へ進学しました。

作品のコンセプトを深めること

大学では念願の眞田先生のゼミに所属しました。先生は作品のコンセプトをとても重要視され、ゼミでは作品に対してどういう考えや意図で作ったのかを追求しました。“コンセプトを深める”を軸に制作を進めるスタイルから、モノづくりはビジュアルや技術だけではなく企画やコンセプトの質がとても重要であることを学びました。

丁寧なコミュニケーション

現在、私は統合報告書やカタログの制作ディレクションを担当しています。具体的には、デザイナーへの指示やスケジュール管理、取材・撮影のディレクションといった業務を行っています。仕事を進めるうえで大切にしているのは、丁寧なコミュニケーションです。デザイナーや営業担当者など、多くの方と協力しながらやる仕事だからこそ、コミュニケーションへのこだわりがより良い作品づくりに繋がると考えています。

ゼロから創造の瞬間に
触れられる幸せ

この仕事のやりがいは、制作ディレクターとしてデザイナーやお客様の考えをまとめ、進行を指揮しながら、ゼロの段階から作品が形になっていく瞬間に立ち会えることです。まだ内容が薄くぼんやりとしていた計画が、関わる人々とのやり取りを重ねることで確かな形となり、世の中に送り出せたときの達成感は何にも代えがたい喜びです。

楽しいと思うものを見つけよう！

自分が楽しいと思うことを仕事にできれば、よりイキイキとした生活が送れると思います。そのために、高校生のうちから本当にやりたいことは何なのかぜひ考えてみてほしいです。進学先を選ぶときも周囲に流されず、“私はこれがやりたい！”と言えるように、日々の中で自分の“楽しい”を大切にしてほしいと思います。



ディレクターとして、丁寧なコミュニケーションを特に大切にしています。



TOMOWEL
共同印刷株式会社



共同印刷株式会社

プロモーションメディア事業部
コミュニケーションデザイン第一部
コンテンツプロデュース第一課(制作)
<https://www.kyodoprinting.co.jp/>

「自由な美」を究める。
女子美流、自立した女性の育成。

【広報グループ】042-778-6123

@joshibi_prs

@joshibi_official



女子美術大学
女子美術大学短期大学部



関連キーワード 企画・制作ディレクション・美術

女子美術大学

芸術学部 アート・デザイン表現学科
ファッションテキスタイル表現領域 卒業
都立小石川中等教育学校出身

佐藤 美佑さん
ディレクター

AMBITIOUS #375

可能性は無限大。挑戦することで 自分の世界を広げよう

文部科学省

高等教育局参事官(国際担当)付留学生交流室
<https://www.mext.go.jp/>

明治大学

政治経済学部 地域行政学科 卒業

※明治大学政治経済学部は2026年4月に
 「政策学科」を新設します。これに伴い、
 地域行政学科は学生募集を停止します。

深江 諒成さん



文部科学省



忘れられない経験となった ボランティア活動

大学2年生の時、子どもの貧困にアプローチする学習支援ボランティアの活動に参加しました。活動では貧困やヤングケアラーなど様々な家庭環境にある小中学生と交流する中で、子どもたちにとっての楽しい瞬間を生み出したことは良かったものの、彼らの未来を考えた時、自分の活動が貧困の連鎖の解決に繋がるのか疑問に思いました。この経験から、様々な家庭環境の子ども達の機会均等が担保される社会を目指し、自分にできるアプローチを考えるようになりました。

公益性の高い仕事を探し出会った “国の未来をつくる”仕事

高校生の時、電車のなかで目の不自由な方を補助する機会がありました。その方からとても感謝され、人のために行動することの喜びを感じるとともに、助けを必要とする人が身近にいることを実感し、将来は公益性の高い仕事に就きたいと考え、公務員を志すきっかけとなりました。その後、就活中に文科省の説明会に参加した際、職員の方の



未来のために
果たす責任



という想いがあることが、この仕事の魅力だと思います。

自分の世界を広げる経験を

留学に関する仕事をしていますが、私自身に留学経験はなく、仕事を通して留学の意義や魅力を初めて知り、学生時代に挑戦しておけば良かったと思うばかりです。未知の世界への挑戦は、自分の世界を広げる糧になると確信しています。私の場合は、目の不自由な方に声をかけた経験が今の自分に繋がったこともあり、どんな小さな出来事でも人生の転換点になると感じています。学生の皆さんには、各々が認識できていないほどの無限の可能性があるため、様々な経験を通じて、何に挑戦したいか、何にやりがいを感じるかの気づきを大切にしていいただければと思います。



“助けを必要とする人たちのために”という信念で、国の未来を創ってまいります。

「文科省は日本の未来をつくる省庁」という言葉に共感し、人の役に立つ仕事をしたいという想いをここでなら実現できると思い、志望するにいたりしました。

大学のゼミの授業が仕事で生きる

私は、日本人学生の海外留学及び外国人留学生の受入れからなる留学生交流の拡大に関する業務を担当しています。仕事では、上司への業務報告が多くありますが、その際に大学のゼミで得られた「伝える力」が非常に生きています。ゼミでは人前での説明や自分の考えを発表する機会が多く、自然と伝える力が養えました。仕事で必要不可欠な報連相において、ゼミでの経験に助けられています。

“誰かのために”を実感する仕事

目の前の仕事をこなす事で精一杯だった毎日のなか、米国における留学生ビザ停止措置が取られました。日々の報道に踊らされる中で、同じ課の職員が学生の安心のために奮闘している姿を目の当たりにし、自分のやっている仕事が世の中のために起きている実感を得られました。どのような業務であっても、その背景には「誰かのために」

地域の最前線に立つ
プロフェッショナルを養成する

【入試広報事務局】03-3296-4139



@meijexam



@meijexam



立教大学で学び、公務員として歩む
挑戦の道

総務省

関東管区行政評価局 総務行政相談部 行政相談課
<https://www.soumu.go.jp/>

立教大学

社会学部 社会学科 卒業

渡邊 隆靖さん

バランス感覚を
大事に!!公務員を志したきっかけと
大学選び

高校生の頃、総合的な学習の時間で社会学という学問を知り、社会を横軸で捉える視点に魅力を感じました。その思いから社会学について深く学びたいと考え、立教大学の社会学部に入学しました。当初は研究者や政策提言に関わる仕事を考えていましたが、行政機関で若い頃から政策に関わることができる公務員の魅力を知り、その道を志すことに決めました。

立教大学での学びと
公務員試験への挑戦

立教大学には専門知識を深める多くの授業があります。その中でも私は地域社会学や超高齢社会に関する成熟社会論などの講義を通じて、地域コミュニティや高齢者福祉の重要性を学びました。そこで社会的な考え方や常識を疑う姿勢を身に付け、ゼミでは文献輪読や他の学生との意見交換を通じ、さまざまな視点から物事を捉えることの重要性を実感しました。また調査・分析手法に関する講義も充実しており、量的・質的調査双方

について実践的な学びを得ることができました。さらに、独学で公務員試験の準備を進める中で、立教大学での社会学の学びが試験やその後のキャリアに役立つことを実感しました。

行政評価局での業務内容

現在、私は採用された総務省本省から関東管区行政評価局に出向し、国民の方々により近い現場で働いています。具体的には主に行政相談の仕事を担当しており、役所の手続きや国が所管する道路の問題など、さまざまな相談を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から解決をサポートしています。私の担当する業務には、総務大臣が委嘱した民間有識者である行政相談委員の活動サポートや地域行政と連携してイベントを企画・実行すること、それらに関連する資料作成を行うことなどがあります。

大学で学んだ知識、
粘り強さの大切さ

私の担当した業務の中で特に印象深いのは、埼玉の行政相談委員組織創立60周年を記念した式典用の発表資料を作成するプロジェクトです。こ

のプロジェクトでは、過去60年分以上の活動を調査し、情報を集約・整理して年表形式にまとめるという作業を行いました。これにより、自分の学生時代に培った調査力と情報整理力を発揮することができたと感じています。今の業務はデスクワークだけでなく、現場での活動も多く含まれており、こうしたイベントやプロジェクトで、参加者や関係者の方々が喜んでくれる姿を見ることができるのは非常に嬉しい瞬間です。多くの仕事を通じ、立教大学で学んだ社会学の知識と、根気よく課題に取り組む大切さを身につけられたことが、仕事にも生きていていると感じます。

どの学部でも大丈夫！
多様な視点を持つ

学生の皆さんに二つ伝えたいメッセージがあります。ひとつは「法学部でなくても、独学でも、公務員を志すことに問題はありません!」ということ。もうひとつは「自身の軸をつくりつつ、多様な視点を持つことを大事にしてほしい」ということです。公務員は風通しの良い職場環境で、多くの方々にぜひ一緒に働いてほしいと思っています。

法の知識で、
国境を越えたビジネスを支える

【入学センター】03-3985-2660

X @rikkyouniv

Instagram @rikkyouniv

立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

論理的思考で天気を読み解き 確かな予報を届ける

気象庁

大気海洋部予報課 気象監視・警報センター 現業班
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

中央大学

理工学部 物理学科 卒業
大庭 淳之介さん



挫折の先に見つけた 物理学を探究する道

中学生の頃から空や雲を眺めるのが好きで、未来を予測する気象予報士の姿に「かっこいい」と漠然と憧れていました。高校卒業後は、気象庁の専門教育機関である気象大学校を目指しましたが、残念ながら夢は叶わず。しかし、元々好きだった物理の知識を深めるべく、中央大学理工学部物理学科へ進むことを決意しました。一つの挫折はありましたが、大学での物理学への探究が、のちに再び気象の道を目指す上で大きな力となってくれたのです。

「好き」を共有する仲間と 深く学べる環境

大学時代に印象的だったのは、同じ「物理好き」の仲間たちに囲まれていたことです。高校までは文系・理系と多様な興味を持つ友人がいましたが、大学では誰もが物理という共通のテーマに夢中でした。分からない問題があれば自然と集まり、教え合い、議論を重ねる。そんな切磋琢磨できる環境があったからこそ、基礎物理の学問を深く、そして楽しく探究すること

挑戦と 努力の 連続

ができたのだと感じています。

日々の天気を読み解き 未来を予測する

一度は諦めかけた気象の道でしたが、大学在学中に偶然、気象庁の募集を目にしました。「もう一度挑戦してみよう」と決意し、公務員試験の勉強を開始。大学で学んでいた物理の知識が試験科目と重なっていたことも幸いしました。現在は気象庁で、小笠原諸島の天気予報の作成や、気象状況の監視などを担当しています。天気図やスーパーコンピュータの予測など、様々な資料を読み解きながら天気の変化を予測し、それが的中した時に大きなやりがいを感じます。

論理的思考力が仕事の土台に

大雨や台風の際には、自治体の方から「自分の市町村はどうなるのか」といった問い合わせが多く寄せられます。私たちの解説が、避難指示などの判断材料にも繋がるため、現象をただ伝えるだけでなく、物理的な根拠に基づいて筋道立てて説明することが常に求められます。大学時代に培った論理的な思考力や、複雑な現象を分かりやすく

説明する力は、まさに今の仕事の土台になっています。専門的な知識はもちろん、物事を深く考える姿勢そのものが、大学で得た大きな学びでした。

回り道も、成長の糧になる

これから進路を選択する中で壁にぶつかるかもしれません。そんな時は、少し回り道をするのかもしれないと思います。その過程で目標へ向かう別のルートが見つかったり、まったく新しい世界に出会えたりすることもあるはずです。私自身、一度は夢を諦めましたが、大学で物理学を探究する面白さに触れた経験が、回り道を経て再び夢を掴む力になりました。どんな経験も自分を成長させてくれると信じて、色々な世界に目を向けてみてください。皆さんの挑戦を心から応援しています。



膨大なデータと向き合い気象現象を分析。
予報が的中した時の達成感がやりがいです。

中央大学理工学部は2026年4月
「基幹理工学部」「社会理工学部」「先進理工学部」の3学部へ

【問い合わせ先】042-674-2210



@chuo_admission



@chuo_admission



中央大学
CHUO UNIVERSITY

— Knowledge into Action —



グローバルを視野に仕事がしたい 大学での学びが活きる

国土交通省 東京航空局

新潟空港事務所 航空管制官
https://www.mlit.go.jp/koku/atc/index.html

駒澤大学

グローバル・メディア・スタディーズ学部

グローバル・メディア学科 卒業

佐々木 達哉さん



英語のスキルを磨きながら メディアを学べる環境

私が駒澤大学への進学を希望した理由は二つあります。一つ目は受験勉強を通して、英語学習への関心が強まり、英語を中心とした国際的な学部を志すようになったからです。二つ目の理由は、情報化社会に対応できる人になりたかったからです。受験勉強をしていた当時、ちょうどガラパゴス携帯からスマートフォンへの移行期でした。さらにSNSが急速に発達し、私も日常的にメディアに触れる日々を送っていたこともあり、メディアについても深く研究してみたいと思っていました。そんななか、英語力とITリテラシーの両方を学べる駒澤大学のグローバル・メディア学科を知り、魅力を感じ志望しました。

多角的視野が養われた環境

グローバル・メディア学科では多角的な視野で問題解決をしているような授業内容が多くありました。少人数制の授業では、留学生や社会人など、多彩なバックグラウンド

を持つクラスメートとディスカッションすることで、環境や経験の違いから生まれる新しい考え方などを知ることができました。日々の授業を通して、ものごとの背景を理解することで、偏った視点だけで解釈しないようになりました。この多角的にもものごとを考える力は現在の仕事でも活かされており、航空管制業務のみならず、チームとして一緒に働く同僚との良好な人間関係の構築にも役立っています。

初めて訪れた国際ターミナルの 空気に魅了される

大学の短期語学セミナーを通してオーストラリアへ留学しました。初めての海外渡航で、初めて空港の国際ターミナルにも行きました。そこでの印象が航空管制官になりたいという夢が芽生えたきっかけです。ターミナルではこれから旅立つ人々を見送る人、わくわくした面持ちで迎えにきている人など、色々な表情で溢れていました。空港の空気そのものに感動し、将来は空港で働きたいという気持ちになりました。

空の安全を守る仕事

現在私は新潟空港で働いています。主な仕事は航空機に対して無線で指示や許可、情報を発出し安全かつ効率的な航空交通の流れをつくり、維持することです。大きな責任を伴う仕事ですが、それ以上のやりがいもあります。気象条件や交通状況など、毎日違った条件下の中、チームの管制官と支え合いながら適切に対処していくこと、そして自分の指示でパイロットと信頼関係を築けたときの喜びはとても大きいものです。大好きな空港で働けていることに感謝をし、今後も空の安全を守るための努力を惜しまず日々邁進していきたいと思っています。



日々緊張感のある仕事だからこそ、厳しい局面に対処できたときのやりがいはいっぱいあります。

英語力とITリテラシーの両翼で
新たなフィールドを拓く

[入学センター] 03-3418-9048



@komazawa_adm



@Komazawa_nyugaku

しなやかな、意思。
駒澤大学



食卓に魚が並び続けるよう、 漁業環境を土木で改善する

農林水産省

水産庁 漁港漁場整備部
計画・海業政策課 海業振興室 課長補佐
<https://www.maff.go.jp/>

東京理科大学

理工学部 土木工学科 卒業
塚本 邦芳さん

農林水産省



「直す」「治す」が原動力

少年時代から今まで私を動かしているのは、「直す」「治す」という意識です。祖父が交通事故に遭って60歳で亡くなり、祖母がパーキンソン病という難病にかかりました。命に関わる病気や怪我が身近だったので、当初は医師を目指しました。大学受験で医学部には落ちてしまいましたが、「直す」ができる東京理科大学の土木工学科を見つけて学問の扉を叩きました。

先生に支えられて 仕事に向け動き出した

医学部に落ちてふてくされていた私。大学に行かない時期もありました。そんな時期に先生が家まで様子を見に来てくれたり、大学に行けば熱意あふれる授業で迎えてくれたことで徐々に立ち直りました。先生たちの熱量があったから今の私があると思います。大学生活の後半では公務員講座を受講しました。スケールの大きい仕事をしたいと思っていたので、目指したのは国家公務員。広く国民のために国家を動かす仕事を目指しました。

土木で魚を食卓へ

2009年に入省してからは根室での漁港整備、ペルーの在外公館への出向などを経験しました。根室では高品質な水産物を流通させるためのインフラ整備に携わりました。ペルーでは日本産農林水産物の輸出拡大のため、現地でのマーケティングや、技術支援などを含めた政府との調整を担当しました。現在、漁村をフィールドとした仕事をしています。漁村では人口減少や、高齢化の進行等により活力が低下していますが、全国の漁村には年間約2,000万人が訪れ、また新鮮な水産物などの多くの地域資源があり、漁村には大きなポテンシャルを有しています。このため、漁村の地域資源の価値や魅力を活かして漁村の賑わいを生み出し、地域の所得向上と雇用機会の確保を図る取組を「海業」（うみぎょう）と位置付け、この「海業」の取組を全国に広めるための業務を行っています。

生活を生産現場から支える喜び

私たちの仕事は地元の方が直接恩恵

を受けるので、「魚がいっぱい獲れたよ！」など、喜びの声を聞くのが嬉しいです。実際に着工するまでは理解を得られなかったり、話を聞いてもらえないこともしばしば。それでも少しずつ信頼関係を作って成果が出ると、この仕事をやっているとよかったと思います。漁村の活性化は水産庁の重要なミッションなので興味があったのですが、現在はその仕事に携われ、喜びを噛みしめながら取り組んでおります。それから、土木は3K（きつい・汚い・危険）、また水産業は地味とも言われており、もしかするとマイナスなイメージをもっている人もいるかもしれません。でも、土木も水産業もみんなの日々の生活を支える重要な産業なんです。

好奇心と チャレンジ精神を持って

新しい分野に飛び込む好奇心、チャレンジ精神がある方と一緒に働きたいです。調整スキルやコミュニケーション能力はどこに行っても役立つので、学生生活の中で身につけていただければと思います。

常識を疑い、
価値創造すること。

Innovation in Science and Technology
for Sustainable Development

【入試広報課】0120-188-139

@TUS_PR

@tus_admis



東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE



夢中になるほどやりがいのある仕事 大学の学びがつながることを実感して

目黒区役所

総務部文書係

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/>

帝京大学

法学部 法律学科 卒業

松本 梢さん



日常の 安心を守る。

進路に悩んだ学生時代

学生時代、自分の進路を考える際に、自分の強みは何なのかそれをどのように活かせるのかとても悩みました。周囲がやりたいことを見つけて目標に向かって進んでいるにもかかわらず、私は「興味があること」や「10年後の姿」が分からずに答えの出ない自分に不安や焦りを感じていましたが、法律分野への関心に加え、法律を学ぶことで、専門性を深めながら進路の幅も広げられることから、帝京大学法学部に進学しました。

法律の知識をもとに 区民の生活を支えたい

大学では、基礎法学を重点的に教わり、法律にとにかくたくさん触れて慣れることで法学の教養を身につける



多くの区民が訪れる目黒区役所で、条例や規則に関する業務を行っています。

ことができました。入学前に大学の強みとして書いてあった、公務員試験のサポートがあり、周りの友人も多くが公務員を希望し、入庁しました。

大学での学び生きる 夢中になれる、 条例や規則に関する業務

現在私は、主に条例や規則の校閲業務を行っています。これは、新しく制定または改正される条例や規則の内容が、法令や他の法規と矛盾していないか、また法的に適切な表現・形式になっているかを確認・審査する専門的な業務です。正確に文章を読み解く力や法的知識が求められる仕事で、大学で学んだことが活かされています。学生時代から文章を作成したり読み解いたりすることが好きだったため、その力を実際の業務に活かせる今の仕事に大きなやりがいを感じています。

社会に出て身に沁みる。 大学時代に贈られた言葉

社会人となっても思い出す言葉があります。「社会では、準備をする時間も与えられず、でも必要なクオリティの

ものを求められる時がある」という大学の先生の言葉です。特に様々な業務を行う区役所では、業務が変わるたびに一から学びなおす大変さを感じますが、そんな時は、この言葉を胸に先輩や同僚に教えてもらったり、助けてもらいながら、日々、業務と向き合っています。

過去と今はつながっている 「自分が何ができるか。という壁」 の先に見えた景色

私は、学生時代、自分の強みが分からず、進路に悩む学生時代を送りました。しかし、将来の姿が思い浮かばない中、目の前の勉強に打ち込むことで、多くの出会いや気づきがありました。その後も、社会人としてのキャリアを積み上げていく中で、できることを少しずつ増やすことで、とても充実した社会人生活を過ごしています。私は進路を決める時に、他の人と比べて、たくさんの時間を使ってたくさん悩みました。ただ、今ふりかえてみると、大学で学んできた法律の知識を含め、すべての経験に無駄はなく、必ず意味があると実感しています。

ますます複雑化する社会において
法的ニーズに応えられる人材を育成します

【帝京大学入試センター】0120-335933



@teikyo-univ



@teikyo_university



帝京大学



区のため、区民のために 責任と魅力ある仕事

江戸川区役所

区教育委員会事務局 教育指導課 事務係
https://www.city.edogawa.tokyo.jp/

大東文化大学

スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科 卒業
巻山 優作さん



スポーツを続けたい、 スポーツを学びたいが叶う大学

私が大東文化大学を選んだ理由は、スポーツ科学科の授業内容に惹かれたからです。小学校から高校まで色々なスポーツをしてきました。特に力を入れたのは高校の野球部です。3年間野球漬けの、忙しい毎日を過ごしていたからか、卒業後はスポーツを続けるつもりはありませんでした。しかし、実際に引退のタイミングを迎えると、まだスポーツを続けたい、さらに学問としてスポーツを学びたいという感情に駆られました。そのなかで、大東文化大学のスポーツ学科では、実技としてスポーツの授業があり、学問としてもスポーツ運動学や生理学などを学べる環境であることが決め手となり入学を決めました。

想像を超えた高いレベルの 環境から得たもの

私が入学した当時は、スポーツ科学科は創立されて日が浅く新しい学科でした。しかし、運動場をはじめ、スポーツを多角的に学ぶための環境



は最先端レベルで整っていました。併せて、同じ学科で学ぶ学生たちの競技レベルも想像を超えるほどでした。全国レベルの学生が多く、なかには卒業後にプロ選手や国体選手として活躍する方もいました。そういう環境で授業を受けたことで、自然と視座が高まり、物事を広い視野で考えられるようになりました。大学で養った力が仕事で生かされ、そのような環境を与えてくれた大学にとっても感謝しています。

区の小学生、教員を支える 学校運営の向上を目指す

私は教育指導課事務係に所属し、区内小学校全校の人事、教員の昇任選考などを担当しています。江戸川区の小学校は全部で66校と都内でも最大級の規模です。必然的に教員数も多く、その中で人事配置を行うことに非常に重責を感じています。なぜなら、人事が学校の運営構想や教員の人生にも影響を与えるからです。緊張と責任を抱えながら決定した人事に対し、校長先生から感謝の言葉をいただき、それが良い学校運営や区内の子供たちのため

になったと実感できたとき、非常に強いやりがいを感じます。

全ての仕事が区民のためになる、 達成感ある仕事

区役所の仕事を一言でいうと、“達成感のある仕事”だと思います。区役所には様々な部署があり、それぞれ扱う業務は異なりますが、根底には“区民のために働く”という共通の思いがあります。この理念こそが区役所の仕事の魅力です。自分の取り組みが区民の喜びにつながる、やりがいのある仕事です。少しでも地域に貢献したいという気持ちがあれば区役所の仕事も選択肢の一つとして考えてみてください。



学校から感謝の言葉をいただいたときの喜びと達成感は、この仕事ならではのものです。

理論と実践力を融合させながら、
スポーツ業界で活躍できるプロフェッショナルを育成する

【入学センター】03-5399-7800



@daito_univ



@daitouniv

大東文化大学



地域の子どもの笑顔と 健やかな育ちを支える

豊島区役所

子ども家庭部 保育課 公立保育グループ
https://www.city.toshima.lg.jp/

大正大学

心理社会学部 臨床心理学科 卒業
(現:臨床心理学部 臨床心理学科)

都立竹早高校 出身

白石 馨澄さん



豊島区
TOSHIMA CITY



自分の“興味”を
大切に!

「知りたい」が学びの入口 未来への扉を開いた大学選び

高校時代に人の心の仕組みに興味を持ち、「面白そう」という純粋な気持ちから進路選びを始めました。臨床心理学の分野で歴史が深く、しっかり学べる環境があることに魅力を感じ、大正大学の臨床心理学部へ進学。当時は将来の仕事を具体的に想像していたわけではありませんが、「知りたい」という気持ちを大切に進路を選んだことが、その後のキャリアを考える上での大きな一歩になりました。

日常に生きる「傾聴」の学び

大学での授業で特に印象に残っているのは、カウンセリングの実践練習です。グループワークで、相手の話を深く理解するための「傾聴姿勢」を学びました。これは、ただ話を聞くのではなく、相手の表情や視線、仕草なども観察しながら、言葉の背景にある思いまで汲み取ろうとする、共感的なコミュニケーションの技法です。「傾聴」は、カウンセリングの場における専門的なスキルであると同時に、友人や家族との日常的な会話でも使えるのだと気づきました。相手をより深く理解し、円滑な関係を築くための視点は、大学での学びで得られた大きな財産です。

「人を支えたい」思いから 公務員へ

公務員を志したのは「人を支える」という特色が自分に合っていると感じたからです。よく足を運ぶ馴染みのある場所だったことや、ワークライフバランスが取れる環境だと感じたことから豊島区役所に就職。大学の講義で、公務員試験に向けた対策ができたことも大きな後押しになりました。専門的な学びと具体的なキャリア支援の両方があったからこそ、目標への道筋を描くことができたのだと思います。

たくさんの人と関わりながら 保育の現場をサポート

現在は事務職員として、公立保育園の運営を支える仕事をしています。子どもたちのための文化体験事業の企画や、園での検診や卒園に向けた物品の手配など、業務は多岐にわたります。区役所、保育園、イベントを実施する委託業者の方など、多くの人と連携して仕事を進める上で、大学で学んだ「傾聴」の姿勢が役立っていると実感します。園長先生から「ありがとう」と声をかけていただいたり、保育園で子どもたちの笑顔を見たりしたときに、大きなやりがいを感じます。

「好き」の気持ちにまっすぐに 興味を追求し挑戦してほしい

これからどんな道に進むべきか、不安に思うこともあるかもしれません。まずは、自分の好きなことや興味があることに積極的に取り組んでみてください。私自身、心理学への興味から学びを深めていく中で、人を支える公務員の仕事という道を見つけました。大学生活の中でいろんなことに挑戦すれば、その先にきっとやりたいことが見つかるはずです。「好き」を追求した先に、皆さんの明るい未来があることを願っています。



子どもたちの笑顔にやりがいを感じながら、保育園の運営を事務の力で支えています。

「関わる」の本質を学ぶ

【代表】03-3918-7311



@TaishoUnv



@taishouniversity



大正大学



国際関係の分野で 活躍する先輩

NGOスタッフ

法政大学

法学部 国際政治学科 卒業

国境なき医師団日本

日本事務局

末藤 千翔さん



©Larry Gumahad/MSF

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 国際協力、医療・人道支援

関連業種： 国際NGO NPO 国際公務員

人道支援の最前線から
現場の声を伝え、動かし、変えていく

迷った時は
心が導く方へ

香港での暮らしが原体験に 世界の問題に関心を持つ

父の仕事の関係で、幼少期を香港で過ごしました。様々な国籍や文化を持つ人々が共に暮らす環境の中で、出稼ぎ労働者の存在などを通して世界の格差や複雑な問題を幼いながらに肌で感じました。この経験から国際的な問題に関心を持つようになり、法政大学法学部国際政治学科へ進学。実務経験豊富な教授陣から学べることや、海外の大学で学べるサマースクールなどの機会が充実していることが決め手でした。

机上の空論ではない生きた学び

大学で印象的だったのはゼミでの活動です。元国連職員の教授のもと、NGOや政府機関などの現場で働く方々を招いた講義や、東ティモールでの研修旅行など、貴重な経験をすることができました。現場のリアルな声に触れることで、国際的な課題に対する理解が深まり、自分に何ができるのかを真剣に考えるようになりました。教科書では得られない学びの機会を与えてもらったこと

が、現在の活動の大きな土台となっています。

人と近い距離で関わり、 支援したい

留学やインターンの経験を通して、将来は人道支援の現場に立ちたいという思いが明確になりました。そんな中で国境なき医師団の説明会に参加。現地の患者さんや地域の人々と非常に近い距離で活動する組織だと知り、「人道援助は人と人との関わり合い」だと考えていた私は強く惹かれました。日本のNGOや国連で経験を積んだ後、当初からの目標だった国境なき医師団の一員となりました。

現場の声を届け 人々の命と尊厳を守る

現在は日本事務局で、海外の医療人道支援活動を支える仕事をしています。紛争地や災害地など、現場の状況を日本の政府関係者に伝え、外交的な働きかけを行うのが主な役割です。例えば、医療へのアクセスが困難な地域があれば、その状況をデータと共に示し、改善に向けた協力を求めます。現場で苦しんでいる人々の声を

届け、状況を少しでも良い方向へ動かすことを目指し、日々活動しています。

心が導く選択と挑戦を大切に

学生時代は、失敗を恐れずに様々なことに挑戦できる貴重な時間です。私自身、大学での学びはもちろん、部活動や海外への一人旅など「これがやりたい」という気持ちを信じて積極的に挑戦してきました。その時々で最善を尽くした経験が、今の仕事の糧になっています。迷った時は自分の心が導く方へ挑戦してみてください。あらゆる経験が自分を成長させ、未来へと繋げてくれるはずです。



イラクやアフガニスタンなど人道危機や紛争後の現場で、活動の責任者を経験しました。

法学・政治学の視点から
個人・国家・世界の課題に挑みます

[入学センター] 03-3264-9300



@hosei_admission



@hosei_admission



@hosei_nyushi



法政大学
HOSEI University



国際関係の分野で 活躍する先輩 パイロット

一直線に 志を遂げる

東海大学

工学部航空宇宙学科 航空操縦学専攻 卒業

Peach Aviation
株式会社
田中 健志郎さん



この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: パイロット、フライトエンジニア、英会話

関連業種: 航空業界 空港

他の仕事では目にすることのない
上空からさまざまな絶景に出会える仕事

最短でパイロットになる夢を 叶えるために

私は小さい頃から映画が好きなのですが、小学生の頃に、世界最高峰のパイロットたちを養成する訓練学校を舞台にした映画『トップガン』を観たのがきっかけで、パイロットを目指すようになりました。高校生の時点でパイロットになる決心をしていた私は、最短でパイロットになれる方法を調べ、パイロット養成課程のある大学に進学したいと考えてように。該当する大学はいくつかあるのですが、なかでも日本で最初にプロパイロット養成コースが設置され、航空宇宙分野におけるトップクラスの研究と実績を誇っている東海大学に入学することを決めました。

優秀な仲間たちと 切磋琢磨した日々

東海大学では、かなりの勉強量をこなす日々を過ごしました。通常の学部だと履修は年間40単位程度だと思いますが、航空操縦学専攻では年間70単位以上を履修しなければいけません。数学や物理といった工学的な基礎学習に加え、2年次からはアメリカの大学へ留学をするため、それに向けた英語学習もあります。土曜日も学校へ行って、学校が終わっ

てからも勉強をする、そんな日々でした。厳しい環境だったかもしれませんが、周りには同じ志を持った仲間たちがいます。出身県でトップレベルの学力を持った学生も多く、そういったレベルの高い仲間たちと切磋琢磨しながら、勉強や訓練を乗り越えていきました。この厳しい訓練期間を経て、チームプレーやチームワーク力を身につけられたと思います。

フライトで見られる 爽快な景色がやりがい

現在は、成田空港をベースに副操縦士として勤務しています。1日のスケジュールはフライト予定によって異なるのですが、フライト前には自分が担当する便の天気や飛行機の状態を確認し、燃油量や飛行高度の選定など飛行プランを機長と打ち合わせします。フライトは、国内だと北海道や関西で1時間半ほどですが、海外だと台北まで3時間半。日によっては4本のフライトを担当することもあり、スケジュールはハードです。ですが、毎回のフライトで見ることができると上空からの景色は爽快。時間帯によって異なるさまざまな景色に出会えるのが、自分にとって大きなやりがいとなっています。また、運航業務にあたり私が大切にしているのは、機長や客室乗務員の方とのコミュニケーションです。スムーズな運航業務には、円滑なコミュ

ニケーションは欠かせず、常に相手を尊重しつつも自分の意見を伝える姿勢が求められると思います。

大切なのは、目標設定と 同士を見つけること

私は、小さい頃からなりたい職業が決まっていたので、勉強自体は大変でしたが、ゴール地点に向かってモチベーションを保って努力することができました。まずはしっかりと目標設定することが大事だと思います。そのうえで、同じ目標を目指している仲間を見つけることをおすすめします。そうすることで、情報共有ができたり、モチベーションを高めあったり、精神的な支えができたり、皆さんにとってプラスの影響を与えてくれますよ。



早いうちにしっかりと目標を決めて、あなたの夢を叶えられるように頑張ってください

航空宇宙学の幅広い知識と
実践力を身に付けた人材を育成

【受験生専用電話】0463-50-2440



@Tokai_Univ_



@tokai_univ_



東海大学



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

設計・開発

東京都市大学

工学部(現:理工学部) 機械システム工学科

日野自動車株式会社

ドライブレコーダー開発部

青木 悠さん



この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 自動車、設計

関連業種: 製造業 設計 開発

トラックは人の生活に欠かせないもの
社会が豊かになるものを作り続けたい

やって
みよう!

“自動車業界で働きたい” 志望を後押ししてくれる環境

私は高校生の時から“乗り物”に関わる仕事に興味があり、機械系に強く輸送機器メーカーへの就職実績が豊富な東京都市大学に惹かれ進学を決めました。学部で学ぶ内容は自動車業界を見据えた知識を学ぶ内容もあり、自然と自動車業界への将来を意識するようになりました。キャリア支援課には自動車業界に進んだ先輩の就活レポートも多く、就職活動で役立ちました。大学は自動車業界への志望を強く後押ししてくれた環境でした。

大学で培った知識と経験

大学での学びと経験は私にとって貴重な財産となりました。機械システム工学科では電気や制御についても学び、仕事での基礎知識として活かしています。材料についての研究では材料の特性を踏まえ全体最適設計を考える力が仕事で直結しています。またラグビー

部でキャプテンを務めた際に、部員と同じ方向を向いて進むためにどうすべきかを考えた経験が成長に繋がりました。

トラックは人の命を繋ぐ

自分が設計開発した商品が日常生活で活躍する姿を見ることがやりがいです。特に災害時にはトラックが物資を運び“人を助ける”大きな役割を果たします。自分が手掛けたトラックが命を繋ぐ働きをしている場面をニュースで見た時は、この仕事をしていて本当に良かったと思いました。

“心配性”になろう!

私は仕事に伴う責任の大きさを常に意識しています。トラックが故障すればインフラが止まり生活に影響を与え、時には命に関わることもあります。だからこそ、自分たちの仕事が生産に及ぼす影響を忘れず、“心配性”なくらい慎重に取り組む姿勢を大切にしています。

自動車業界を志望する学生へ

自動車業界で設計開発職を夢見る方へ、私の経験からのアドバイスは、まず理系大学への進学は一つの選択技だと思います。学部は問わず、どの勉強も仕事の基礎になるのでしっかり学んでください。また自動車業界はグローバル産業のため英語の勉強も忘れずに!そしてAIやプログラミングです。都市大には留学制度やAI技術を学べるプログラムも多くあるので上手に活用し学んでいくことがお勧めです。まずは一歩踏み出すことから始めてください!



“手掛ける製品への責任を強く持つ”
この気持ちをマストとして仕事をしています!

電気と制御で機械をつなぐ

【入試課】03-5707-0104

@toshidaigroup

tcu.ac.jp



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

施工管理

日本大学

理工学部 建築学科 卒業

大和ハウス工業株式会社

東京本店 建築系工事業第一部流通第二課 主任

吉原 貴一さん



「軸」に
好きを

学生時代の多様な出会いと経験が
多くの人と建物を造る力になる

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： 施工管理、安全管理、社会インフラ

関連業種： 専門工事業 設計事務所 建設コンサルタント

前例のない研究に挑戦した 学生時代

建設業を営む祖父の影響で幼い頃から建築に興味を持ち、多くの学生が集まる環境に惹かれ、日本大学理工学部に進学しました。大学のゼミでの研究は「建物の中の音環境」についてでした。研究テーマは先輩から受け継ぐことが一般的ですが、せっかくなら誰もやったことのないテーマに挑戦したいと思い、友人と3人で複合施設内にある保育園の音環境について研究することに。前例やデータがない中で、保育園に自らアポイントを取り園内の音を測定し、昼寝中の園児への影響などを研究しました。仲間と協力して一つのことを成し遂げた経験は大きな自信につながっています。

多くの人と関わり 建物を造り上げる施工管理の仕事

現在は、大和ハウス工業で施工管理の仕事をしています。建物を造り上げていく現場で、品質、原価、工程、安全、環境の5つを管理するのが

主な仕事です。特に、現場で働く職方さんたちが無事故・無災害で働ける環境づくりに力を入れています。多くの人と関わりながら建物を造り上げ、完成時にお客さまから「ありがとう」という言葉をいただいたときに一番のやりがいを感じます。現在は現場所長という責任ある立場ですが、常に職方さんたちへの敬意を忘れず仕事に取り組んでいます。

多様な人との出会いが 今のコミュニケーション力を育んだ

大学時代に培われたコミュニケーション能力は、今の仕事にとっても生きています。建築学科では、建設業に携わる教授や、現場見学でプロの方々や接する機会が多くありました。それに加え、ゼミの仲間や4年間続けた塾講師のアルバイトでは、小学生から高校生まで本当に多様な年代の人と関わりました。今の現場でも、若い職方さんから親世代の方まで、さまざまな人々と協力して仕事を進めます。学生のうちから多様な年代や専門家と交流する経験をしたからこそ、円滑に仕事を進

められているのだと実感しています。

最初の「ワクワク」を忘れずに たくさんの経験を

自分の興味ややりたいこと、その「軸」を学生のうちに見つけてほしいです。社会人になると責任が伴い大変なことも多いですが、その中で楽しさややりがいを見つける原動力は、最初に興味を持ったときのワクワクする気持ち。壁にぶつかっても、その気持ちを思い出すことが力になります。ぜひたくさんのことに挑戦し、多くの人と出会い、自分の「軸」を見つける経験を重ねていってください。



社会の礎である建設業界で、現場の安全第一をモットーに、チーム一丸となって活躍中。

設計デザインから計画、構造、環境まで、
建築学のあらゆる分野を網羅

【学務部入学課】03-5275-8001

@nihon.u.koho

@nihon-u.nyushi



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

ITコンサルタント

日本大学

文理学部 社会学科

日本アイ・ビー・エム 株式会社

コンサルティング事業本部
製造・流通・公益・統括サービス事業部

黒田 彩夏さん



ITが便利な時代だからこそ
自分の選択に責任を持つ学びを

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: IT、統計、次世代AI、エージェント型AI、プログラミング、多様性

関連業種: コンサルティング 営業 情報処理 研究・開発

文化人類学の追求からITへの 大きな方向転換

高校時代にプレゼンをするための研究課題で日本女性の痩身について取り上げました。美の基準は時代などによって異なるものですが、そうした人に関する学びがとても面白く、卒業後は、文化人類学を勉強するために日本大学文理学部に進学しました。有名な先生のゼミにも入ることができましたが、その矢先にコロナ禍に突入。その経験がITに目を向ける大きな転機となりました。リモート授業が日常となり、よくわからなかったITの波に乗って生きていくことに直面。何も知らずに使っていく＝使わされていくのではなく、自分でコントロールできるようにになりたいと思うようになりました。

ITを使って課題解決に導く コンサルタントに

IBMにはエンジニア職で入社し、コンサルタントへと職種を変更しました。コンサルタントは、お客様の悩みごとや課題を解決していく

仕事です。お客様の頭の中にある「こうなったらいいな」を実現していくために、さまざまなすり合わせをして、ITを活用しながらモノゴトを動かしていきます。人からITへと興味が変化し、大きな方向転換をしましたが、大学時代の多様な学びの中でITの仕組みなどにも触れていたことが、今の仕事にも生きていると実感する日々です。

自分の選択に責任を持って 邁進していきたい

IBMは多国籍。さまざまなバックグラウンドを持つ人たちが働く楽しさがあります。これまで、私が当たり前だと思っていたことは、当たり前ではないと気づくこともありますし、逆もそう。知らなかったことを知ることや、一気に価値観が変わるようなことが起こるので、面白い毎日です。IBMの社員はみんな勉強熱心。その中で、できることにしっかり向き合いながら、自分の選択に責任を持っていきたいと思っています。任されたことをしっかりとやり遂げることを続けていきたいですね。

デジタルを活用しながら 自分で判断できるように

中学、高校時代の選択が、未来につながる可能性があります。自分の人生は自分のものですから、自分で考えて選択をしてほしい。それが、自分の人生に責任を持つということだと思います。そして今は、ITが便利な時代です。しかし、テクノロジーに頼りすぎず、自分で調べる、判断することも大切。ネットの中がすべてではなく、正しいわけでもありません。自分で選択や判断をできるように、自分の目で世界を見ること。本を読むこと。そうした経験や学びを得てほしいと思います。



ITを活用し、悩みや課題を解決していくコンサルタントとして活躍しています

「社会」を、まるごと、学ぼう

[学務部入学課] 03-5275-8001

@nihon.u.koho

@nihon-u.nyushi



自主創造
日本大学



IT・モノづくりの分野で 活躍する先輩

IT・ソフトウェア

成蹊大学

文学部 現代社会学科 卒業

法政大学大学院

政策創造研究科 修了

フリー株式会社

スモール事業部 マーケティング担当

鈴木 あすかさん



悩みも
いつかの自分の
糧になる!

今の経験を信じてほしい
必ず未来に繋がっていく

この仕事について
もっと知りたいとき



関連キーワード: マーケティング、体験設計

関連業種: クラウド会計 バックオフィス支援 SaaS

環境と学びの両方が叶った 学生生活

高校時代、まだやりたいことが明確に決まっていなかったため、大学選びでは環境と学びの幅を重視しました。成蹊大学はワンキャンパスで学べるため、4年間同じ場所に通える環境と吉祥寺という街に魅力を感じていました。また、現代社会学科で「何でも学びにできる」社会学に興味があり、環境と学びの両方が実現できると感じて進学を決めました。

ゼロから企画を形にする喜び

大学では学祭実行委員として、タレントトークショーや中夜祭などの企画運営を担当しました。特に2年生の時には企画リーダーを務め、ゼロから企画書を作り、イベントを設計して舞台に起こす経験をしました。この経験を通じて「体験を作る」「空間を作る」ことに興味があると気づきました。

多様な人と学んだ経験

大学4年の時、コロナ禍で就職の先行きが不透明な中、卒論執筆を通じて研究の面白さを実感していました。そんな時、夜間と土日の授業で働きながら学べる法政大学大学院の政策創造研究科を紹介され、進学を決めました。日中はゲストハウスで働き、夜間の大学院では多様な年齢や経歴を持つ仲間と数名のチームを組み、小論文の作成と発表に取り組みました。異なるバックグラウンドの人々と協働し、一つの成果を生み出す経験を深めることができました。

お客様の体験を見据えて

フリー株式会社に入社を決めたのはバックオフィスを支えるという形で、すべての人が豊かに経営をできるような「体験を作る」ことができる点に意義を感じたためです。現在はマーケティングを担当し、サービスの改善がお客様の業務負担を少しでも軽くし、事業の

可能性を広げるといった顧客体験を設計して施策に落とし込んでいます。

悩みは必ず糧になる

マーケティングは、お客様がどう感じるかを考え続ける仕事です。苦しみながらも考えることを楽しめる人に向いていると思います。学生の皆さんには、日々の出会いや感じたことを大切にしてほしいです。大人になってから繋がる部分がたくさんあるはずですが、悩むこともたくさんあると思いますが、その経験はきっと未来の自分の糧になると信じて、頑張ってください。



お客様の感情を起点に考え抜き、業務負担を少しでも軽くできるようなユーザー体験を考えています。

柔軟な知性で「人間の本質」を見抜く
自立の人間、国際教養人を養成

【アドミッションセンター事務局】0422-37-3533

@seikei_zelkova

@seikei_official



成蹊大学



くらし・生活の分野で 活躍する先輩

航空機整備業 サービス業

東京電機大学

工学部第二部 機械工学科 卒業

ANAラインメンテナンス テクニクス株式会社

大阪整備部 整備3課

井林 万結さん



自己革新!

自分の「好き」が確信できた大学生活
誰からも頼られる整備士になりたい

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: 航空機整備、運航整備、ライン整備士

関連業種: 空港サービス 検査 整備 メンテナンス

ライン整備士の仕事で生きる 大学生活から得たものとは

私の仕事は、到着した航空機を次の出発までの間に整備するライン整備士です。ライン整備士は、パイロットやキャビンアテンダントなど運航を支える様々なスタッフと連携しながら機体の点検と不具合修復を行います。正確な情報を得るためにコミュニケーション能力が不可欠ですが、学部での経験がそれに活かされています。工学部第二部は社会人学生など異なる年代の方と学べる環境だったため、年代を超えてのコミュニケーション能力が自然と養えました。

大学の手厚いキャリア支援に感謝

大学生活を通して、とても感謝しているのは大学のキャリア支援です。キャリアサポートがきっかけで航空整備士という夢を見つけました。工学部第二部では入学時から学生一人ひとりに社会人経験のあるキャリア担当

者がつきます。この支援を通して、飛行機というスケールの大きさ、安全への管理が特に求められる航空整備士に惹かれました。手厚いキャリアサポートは大学の自慢だと思います。

整備士としての成長と目標

ライン整備士は、定刻通りに飛行機を出発させられるよう限られた時間内で不具合を修復する必要があります。入社したての頃は、遅延しないようにという気持ちから、限られた時間内での不具合修復作業がプレッシャーでした。しかし、周囲の仲間と協力し、ライン整備士として業務経験を重ねることで、時間をコントロールできるようになりました。現在は資格取得のための勉強が大変です。しかし、最後にフライトのゴーサインをパイロットに出す重要な役割であるシップリリースができる整備士になること、知識と技術がより必要な地方空港も任せてもらえる整備士になるという夢を胸に頑張ります。

「好きを見つける」と「読書」

学生の特権は自分の好きなものが何かを見極める時間があることだと思います。好きという気持ちは困難があっても必ず乗り越えられる力になります。本当に好きなものは何かを学生生活で探求してほしいと思います。そして多くの本を読むこともお勧めします。本は自分では経験できないことを経験できるとも貴重な体験材料です。今から多くの本に触れて知識と経験を積んでほしいと思います。



多くのスタッフとの情報共有を大切にしながら不具合修復を進めています。

新技術の開発まで行える応用力に優れた
機械エンジニアを目指して学びます。

【東京電機大学 入試センター】03-5284-5151

@TDU_webmaster @tdu_nyushi



TDU



くらし・生活の分野で
活躍する先輩

食品業

帝京大学

理工学部 バイオサイエンス学科 卒業

ネスレ日本株式会社

生産本部 製造サービス部 コンフェクショナリー課

栗山 貴文さん



一人でも多くの人が幸せになるために
おいしいキットカットの開発に尽力し続けます！

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： グローバル、製菓、新製品開発

関連業種： 物流 卸売 食品 飲料

未経験の分野へ挑戦した大学生活
“考える癖”を習得

私は大学生活の目標を“挑戦”に定め、その一環として、未経験ながら準硬式野球部へ入部しました。野球未経験の私が、部に対してできることを考え行動した結果、試合に出られるようになり、最終的にはキャプテンを任せてもらえるようになりました。また、学園祭実行委員会の総務局長として大所帯の組織をまとめる方法を常に考えていたため、考える力を養うことができたキャンパスライフでした。

入社後即大活躍！
役に立った大学の授業

大学で食品に関する授業を履修しており、入社後、授業で得た知識のおかげで、配属先の製造現場でのやり取りがすぐに理解できました。理解できると仕事がより楽しくなり、大学での学びが直に仕事に活かした授業だったので、感謝しています。

世界展開しているキットカット
製造現場の一員であることは

現在私は、マーケティング・工場・品質・調達・工務など様々な部門と連携し、キットカットの製品開発に携わっています。それまでは製造現場にいましたが、上司が外国人で、ミーティングが英語で行われるなど、キットカットがグローバル商品であることを肌で感じました。私は英語が苦手でしたが、良い製品を作るため勉強を続け、未熟ながらも英語でやり取りができるまでになりました。グローバル企業の社員であることを実感しています。

キットカットの製品開発として
最高の喜び

スーパーやドラッグストアでお客様がキットカットの製品を手にとっている姿を見たとき、家族からおいしかったよと言われたときにこの仕事をやっていて良かった！と思います。また、試行錯誤して出た企画に対し、製品開発に関わったメンバーから、「栗山君、これは売れるぞ！」

という言葉をもらえたときは、強いやりがいを感じます。「キットカットから一人でも多くの人を幸せにしたい。」この変わらぬ思いを叶えるためにもっと頑張ろうと思える瞬間です。

アンテナを張って諦めずに考える

高校生の頃は、自分のキャリアイメージが全くついていませんでした。ただ、“アンテナを張り、諦めずに、よく考えて”行動してきたことが今の自分に繋がっていると思います。学生の皆さんも、自身のキャリアイメージがうまくできない時には参考してみてください。



キットカットのファンを増やすべく、“考えること”を怠らずに仕事に取り組んでいます。

生命を分子レベルで理解し、
多様な分野で応用する専門性を身につけます

【帝京大学入試センター】0120-335933

LINE @teikyo-univ

Instagram @teikyo_university



帝京大学



教育・くらしの分野で 活躍する先輩

商品開発



小さな「できた！」を
成長につなげよう！

国際基督教大学

教養学部 アーツ・サイエンス学科 卒業

ベネッセコーポレーション

ベアレンティング事業本部
こどもちゃれんじプロダクト開発部

西岡 万理子さん



この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード： マーケティング、通信教育、英語教育、商品開発

関連業種： 出版社 玩具メーカー 広告代理店

「英語が好き」を育む商品開発で
子どもたちの未来の可能性を拓く

英語が身近だった幼少期 留学経験が大きな転機に

幼少期から習い事で英語に親しむ環境で育ち、高校では英語科を専攻。カナダへの留学も経験しました。「単に英語が話せるだけではなく英語を使って何かをしたい」という思いが強かった私にとって、この留学は大きな転機に。英語で自分の考えを主張し、議論する楽しさを知ることが、大学選びの軸となりました。キリスト教主義の思想に共感したことや、英語での授業が充実していることに魅力を感じ、国際基督教大学(ICU)への進学を決めました。

なぜ?を突き詰める楽しさ 大学時代の留学で学んだ マーケティング

ICUでは、2年次の終わりに専攻を決定します。私は、消費者の行動や新商品が生まれる背景への純粋な好奇心からマーケティングに興味を持ち、この分野の専門家が多いトロント大学へ1年間留学しました。現地の授業は

「もしあなたがこの企業のマーケターならどうするか」といった実践的なケーススタディが中心。英語で自分の考えをプレゼンし、議論を重ねる日々は刺激に満ちていました。このような、人の動向から「なぜ?」を深く追求したり課題を言語化したりする力は大学時代に磨かれ、今の仕事にもおおいに役立っていると感じます。

「子ども向け英語商品を作りたい」 ベネッセを志した理由

留学中に参加したキャリアフォーラムで、幼い頃に受講していた「こどもちゃれんじ」のベネッセに出会いました。ベネッセに幼児向けの英語商品があることを知り、「英語を学ぶ楽しさを、もっと多くの子どもたちに伝えたい」という強い思いが芽生えました。内定時から「英語商品を作りたい」とアピールし続けた熱意が実り、現在は「こどもちゃれんじ English」などの商品開発リーダーを務めています。自分が開発した教材によって子どもたちが笑顔になる瞬間に、何よりのやりがいを感じます。SNSで「おもちゃが役立った」とい

う声を見つけた時や、電車で絵本を読む親子を見かけた時は本当に嬉しいです。

小さな「できた」の積み重ねが、 大きな成長につながる

これから進路を選ぶ皆さんに伝えたいのは、「小さな『できた』の積み重ねが自信になる」ということです。私も、留学先で自分の意思が伝わった時のささやかな成功体験が、やがて自分の考えを堂々と主張できる大きな自信に繋がりました。「今の自分には少し難しいかも」と感じることにあえて挑戦し、小さな成功体験を大切に未来への一步を踏み出してください。



子どもたちに英語を学ぶ楽しさを伝えたい。その思いが教材開発の原動力です。

文理の枠を超えた、
少人数・対話型のリベラルアーツ教育

[パブリックリレーションズ・オフィス] 0422-33-3058

@ICU_JP

@icuoofficialtokyo



ICU

国際基督教大学



くらし・生活の分野で 活躍する先輩

鉄道業

明星大学

理工学部 電気電子システム工学科 卒業
(現:理工学部 総合理工学科 電気工学コース)

多摩都市モノレール株式会社
安全管理推進室

都立小平
高校出身 鶴殿 歩さん



まだ見ぬ自分と出会うために
いろんな世界に飛び込んでみよう!

色々な世界に飛び込もう
経験こそが自分の成長に繋がります

この仕事について
もっと知りたいとき

関連キーワード: モノレール, 安全管理

関連業種: 運輸 鉄道

幅広い学問を勉強できる 視野を広げられる環境

私は大学の授業を通して自身の教養を深められたと感じています。明星大学は多様な学部がある総合大学であり、教養科目が豊富でした。特に社会学を学んだことで歴史、政治、経済などの色々な分野に興味を持ち、学問の幅が広がったことが印象に残っています。幅広い分野の授業があったことで、楽しみながら教養を深められました。社会学の他に心理学など、大学生の頃に出会った学問については、実は今も趣味で勉強を続けています。

やりきる自信となった卒業研究

私は卒業研究で「音楽の1/fゆらぎ」というテーマを扱いました。当時はこれが特殊なテーマだったので、データを集めるにも大変苦労しました。研究仲間も徐々に他のテーマに変更していき、最終的に研究している者は私だけになりました。しかし、教授に指導してもらいながら、最後までやり切れたことが自分にとって自信となりました。

公共性の高い仕事をしたい

前職では音響に関する仕事やカメラマン、ライターなどをしていました。色々な仕事を経験していくうちに、多くの人の役に立つ行政の仕事や交通機関の仕事がしたいと思うようになり、転職して多摩都市モノレールに入社しました。

社員一丸となって安全を創る

私の所属する「安全管理推進室」という部署では、事故やミスなどの情報収集や分析、それに基づく対策の立案、マニュアルの作成・見直しといった業務を担当しています。また、全社的な訓練や安全教育も行っており、社員一人ひとりの安全意識を高める取り組みにも関わっています。多くの部署と連携してモノレールの安全を創る。これが私の仕事です。私は駅員・運転士等を経て現在の部署に異動となりましたが、ここでは車両や設備なども含めた総合的な知識が求められます。日々勉強ですが、大学時代に勉強した電気や機械の知識が、実は役に立っていることを実感し

ています。電車が当たり前安全に動いて、利用
するお客様の生活を支えているという実感を持
てることがこの仕事の醍醐味です。

色々な世界に飛び込もう!

私は大学での様々な授業や学生、教授との交流
や、卒業後に経験した仕事の中で多くの方に出
会えたことで、自分の視野がとても広がりました。
みなさんにも色々な世界に飛び込んで多くの
経験を積んでほしいと思います。世界を広げる手
段として本を読むこともおすすめです。読書で得
た知識が人生で生きてくる場面は多いものです。
色々な世界を見て自己の成長に繋げてください。



安全運行は当たり前。社員全員でモノレールを
利用するお客様のために尽力しています。

9学部1学環、12学科が集うキャンパス
学問分野を超えた学びから、幅広い視野を育む

[アドミッションセンター] 042-591-5793



@meiseiuniv_ad



@meiseiuniv



@418omxui



明星大学
MEISEI UNIVERSITY





人生の支えになるもの

患者さんの心と身体に寄り添う 丁寧なケアで支える 看護師の仕事

東京都立広尾病院

循環器病棟

<https://www.tmh.jp/hiroo/>



帝京平成大学

ヒューマンケア学部 看護学科 卒業

浅井 莉子 さん

看護師に救われた 祖母の姿が原点に

祖母が入退院を繰り返していたため、小さい頃から看護師は身近な存在でした。幼い私にも優しく対応してくださった看護師さんたちの姿をよく覚えています。祖母が「看護師さんが親身になってくれたから手術の不安を乗り越えられた」と語っていたこともあり、「私もそんな存在になりたい」と強く思うようになりました。大学選びの際は、国家試験へのサポートの手厚さに魅力を感じ、帝京平成大学に進学を決めました。

担任制のサポートで 学びが深まる

大学で印象的だったのは、3年生まで担任制があったことです。担任の先生は、就職活動や国家試験の勉強はもちろん、日頃の悩みまで相談に乗ってくださいました。また、苦手な単元があれば補習を実施してくださったため、効率的に学びを深めることができました。一人ひとりに寄り添ったサポートがあったからこそ、目標に向かって着実に歩みを進めることができたのだと思います。

現場での実習で 看護の楽しさを実感

大学3年生の年に初めて病院での実習を経験しました。いきなり患者さんを受け持つことに大変緊張しましたが、担当した患者さんから「浅井さんがいてくれたから安心できた」と声をかけていただいた時、看護の楽しさを実感しました。指導者の方からも「学生だからこそ聞き出せる話がある」と教えていただき、患者さんの声に耳を傾け、深く関わることの大切さを学びました。

気持ちに深く寄り添う 丁寧なケアを

現在は広尾病院の循環器病棟で看護師として働いています。患者さんの手術前後の身体状況の確認や、食事・清潔介助など日常生活のサポートを行っています。初めての入院や急な手術で不安を抱えている方も少なくありません。何気ない会話にも丁寧に耳を傾け、不安な気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています。患者さんから「あの時話を聞いてくれてありがとう」と感謝の言葉をいただいた時や、一緒に退院を喜べた時に大きなやりがいを感じます。

「楽しい」が成長の原動力に

「楽しい」という気持ちを大切に、勉強だけでなくアルバイトや趣味など、興味があることに積極的に取り組んでみてください。私自身、勉強は得意ではありませんでしたが、看護の学びは心から楽しく、その気持ちが国家試験合格への大きな原動力になりました。学ばずでも仕事をする上でも「楽しい」と思えることは大きな力になります。楽しみながら挑戦することで、未来を切り拓いていってください。



患者さんの日々の小さな変化に気づき、心と身体
の両面からサポートします。

健康の維持や、病気・外傷からの回復などを
サポートする医療専門職を養成します。

【入学者選抜相談・入試係】03-5843-3200

X @thu_nyushi

Instagram @teikyoheisei_university

帝京平成大学



あらゆる医療現場で活躍できる看護師を目指す

コロナ禍という逆境から 見つかった夢

高校生のころにコロナ禍となり、毎日ニュースでコロナ患者に対応する医療現場の様子が報道されていました。そこで奮闘する看護師の姿はかっこよく、自分も看護師として人の力になりたいと思うようになりました。コロナ禍という大変な時期を経験したことが、将来の夢を持つきっかけになりました。

大学附属病院のある大学で 学びたい

看護師になりたいという夢が見つかったからは、より多くの医療現場を経験し、専門的な知識を深められる環境で学びたいという思いが強まりました。

大学附属病院をもつ順天堂大学では、最先端の医療を身近に感じながら学ぶことができ、六つの附属病院での実習を通じて、豊富な臨床経験を積める点に大きな魅力を感じ、進学を決めました。

心に響いた先生の言葉

1年生の時、現役で活躍されている看護師の先生から「看護師としての使命感を今から持って日々を過ごすことで、必ず実力はつく。勉強の中で辛いことがあっても、今の夢に向かって突き進んでほしい」と言葉をいただきました。看護師を目指す私たちを全力で応援してくださる姿に感動し、その言葉は今でも私の支えになっています。

辛いときは先生の言葉を思い出して乗り越え、将来、立派な看護師となった姿を先生に見せられるよう頑張りたいです。

経験全てに意味がある

学生の皆さんに、すべての経験には意味があるということを伝えたいです。私は一見マイナスに思えるコロナを経験したことで夢を見つけました。それ以来、医療系のドラマは必ずチェックするなど私生活にも変化がありました。受験勉強など辛いことも、きっと意味のある経験です。どうか前向きに乗り切ってください。

この業界・仕事を目指す大学生に聞く!

学ぶ

順天堂大学



知と技、そして
“仁”の心ある看護師へ

順天堂大学 医療看護学部 看護学科

都立板橋有徳高校 出身

渡邊 翔さん 2年(取材時)



【代表】047-355-3111

@juntendo_nurse

@juntendo_nurs

病気だけにではなく、患者さんに向き合える医師になりたい

きっかけはボランティア活動

医療の道が視野に入ったのは、高校2年の夏のボランティア活動でした。小児科に入院している患者さんのご家族が滞在する場所で、掃除などの手伝いをしました。この時に、患者さんやご家族の心境に触れ、皆さんに少しでも元気になって欲しいという思いが芽生えました。元々人体解剖や、医療に関して興味はあったので、医療の道を目指すことにしました。

高校時代から積み重ねていた 自主自学の精神

自ら学び、自らの責任で決断するという大学の教育理念が自分に合っていると感じました。また、キャンパスが西

新宿にあるため、日本全国から多くの患者さんがいらっしゃるという利点もあり、進学を決意しました。大学では部活動がとても盛んですが、だからといって勉学に手を抜くことは決してありません。友人たちと同じ方向を向きながら、努力を積み重ねることの大切さを教えてもらっています。

患者さんと

どのように向き合うのかを知る

医療プロフェッショナリズムという授業があります。これは医療の知識の部分ではなく、患者さんや社会から信頼を得るために、どのように向き合い、接していくのかを学ぶ授業です。患者さんのこと以外にも、チーム医療に関して、またダイバーシティについて

の理解を深めていきます。これらは今後、自分が医師になる時に必要になってくるスキルだと思います。

手遅れだから、と あきらめないで

高校2年の出来事をきっかけに、医学部を目指そうと思いました。皆さんも、医療に興味があるのに、「文系にいるから」「成績が悪いから」という理由であきらめないでほしいと思っています。後悔しないためにも、日々挑戦することが大事です。そして医療は日々進歩し続けています。私自身も、より良い治療を提供できるよう日々努力し、そして誰よりも患者さんに向き合える医師になりたいと思っています。

この業界・仕事を目指す大学生に聞く!

学ぶ

東京医科大学



高度な知識と技術を持った
“最高水準”の医師の育成を目指す

東京医科大学 医学部 医学科

栗山 芽衣子さん 6学年(取材時)



【アドミッションセンター】03-3351-6141

患者さんに心から寄り添う看護を
初心を忘れずにいたい地方独立行政法人 東京都立病院機構
がん・感染症センター
都立駒込病院<https://www.tmh.jp/komagome/index.html>

東京医療保健大学

医療保健学部 看護学科 卒業

稲葉 百合子 さん

その人らしく
生きることを支える「私は看護師になる」
覚悟が決まった大学の授業

小学校の時から将来の夢として何となく看護師を視野に入れていました。大学も、看護学科があって自宅から通えるところという理由で進学先を決めました。しかし、東京医療保健大学ならではのチーム医療としての看護学や日本医療の現状について幅広く学ぶうちに、看護師という仕事にどんどん魅了されました。大学での学びが「看護師になりたい」と強い気持ちにさせてくれました。

「機能看護学」と「国際看護」

看護師としての自分の成長の糧となった思い出深い授業が二つあります。まずセルフマネジメントを学びながら、理想の組織とするための看護の機能を考える「機能看護学」という授業です。チーム医療での看護という役割に特化した学びは今とても活かされており大学に感謝しています。また「国際看護」というテーマでアメリカのシアトルに行き、現地の米医療に触れる経験ができたことも財産と

なりました。最先端をいくアメリカ医療に感銘しつつも、日本医療の素晴らしさも改めて感じる事ができました。医療に対する視野が広がった貴重な経験ができました。

「寄り添うこと」から

がん専門病院に来院される方の多くは、健康診断や他院でがんの疑いを告げられ、不安な気持ちを抱えています。突然の診断に心の整理がつかない状況において、私はまず患者さんやご家族の声に耳を傾け、気持ちに寄り添う看護を大切にしています。病院を訪れたこと自体が大きな一歩であると理解し、その思いを尊重しながら、医療スタッフと連携して支援していくことを心がけています。

「チーム医療だからこそ達成感」

関わった患者さんが元気になったときは嬉しさを感じますが、それだけではなく、一人の患者の治療にあたり医師や薬剤師など、治療に関わる多くの仲間と切磋琢磨しながら治療方法を模索しベストを尽くすチームプレイに

やりがいを感じます。仲間と共に悩み導いた治療方針で患者さんが助かったとき、患者さんやご家族から「ありがとうございました」と言ってもらえた時は、何度経験しても胸がいっぱいになります。

「看護師として変わらぬ思い」

看護師としてキャリアを重ねても「人の気持ちに寄り添える看護師になりたい」という目標はこの先も変わりません。治療に絶対の正解がないなかで、多様な考えを持つ患者さんの気持ちに寄り添うことの難しさを日々感じます。どんなに忙しくても、一人ひとりの思いに向き合うことを揺るがぬ目標として成長していきたいです。



“患者さんの声に耳を傾け、思いを理解すること”
この考えを大切にしています。



一歩先の医療を、創造する。

【入試広報部】03-5779-5071

X @tokyoiryohoken

Instagram @tokyoiryohoken_univ

AMBITIOUS
#395

働く

東京医療保健大学



一人ひとりの人生と向き合って
患者さんと共に歩む看護の道

立川相互病院

外科病棟

<https://www.t-kenseikai.jp/tachikawasougo/>

杏林大学

保健学部 看護学科 看護看護教育学専攻 卒業

都立南平高校出身

青柳 こみさん

今しかできないことを
楽しんで!!

【 養護教諭を目指した先に
見つけた道 】

中学時代に人間関係で悩んだ際、気軽に保健室に行けなかった経験から「生徒がいつでも相談できる保健室の先生になりたい」と思うようになりました。しかし、養護教諭は狭き門。将来のキャリアを考えた時、養護教諭と看護師、両方の資格を取得できるコースがあることに魅力を感じ、杏林大学の保健学部に進学を決めました。当初は養護教諭を目指していましたが、実習など大学での学びを通して、患者さんの人生に深く関わる仕事の素晴らしさを知り、看護師の道を志すようになりました。

【 実習で学んだ
患者さんに深く寄り添う姿勢 】

在学中は国家試験に向けた補習や、先生から手厚い指導を受けられる少人数ゼミなど、心強いサポート体制が整っていました。中でも特に印象に残っているのが、老年看護実習です。私は心不全を患う患者さんに対して、水分や塩分を制限する指導を考えていました。しかし先生から「その人の

人生にとって、すべてを制限することが本当に正しいのだろうか」と問いかけられました。そこから患者さんが病気と付き合いながら、その人らしい生活を送るために自分に何ができるのかを深く考えるようになりました。この経験は、患者さんの価値観や人生に深く寄り添うことの大切さを教えてくれた、私の看護の原点であり、現在の仕事にも活かしていると感じます。

【 対話から生まれる
一人ひとりのためのケア 】

就職活動では病院の雰囲気や重視しており、職場体験で感じた看護師の皆さんの優しさや職場の温かさが決め手となり、立川相互病院に入職しました。現在は外科病棟で、手術前後の患者さんのケアを中心に、日々のバイタル測定や採血、食事や清潔の介助などを担当しています。患者さんとの関わり方に決まった正解はありません。だからこそ、対話を重ね「その人のために何ができるか」を考え抜いたケアが、患者さんやご家族の方からの感謝の言葉に繋がった時には大きなやりがいを感じます。

【 挑戦し、自分を知る経験が
未来の可能性を広げる 】

大学進学でどの道を選んだとしても、それで将来が一つに決まるわけではありません。だからこそ、勉強以外にもたくさんすることに挑戦してみたいです。私自身、接客のアルバイトで「お客様のために何ができるか」を考えた経験が、患者さんに関わるうえで大きな土台となっています。皆さんも、学生時代にしかできない経験を通して、自分に合うことと合わないことを見つながら、可能性を広げていってください。



手術前後の患者さんに寄り添い、日々の対話と丁寧なケアを心がけています。

杏林大学



チーム医療を支える人材を育てる

【 入学センター 】 0422-47-0077

X @kyorin_univ

Instagram @kyorin_university

AMBITIOUS
#396

働く

杏林大学



入試は大学からの メッセージ

あなたの力が最大限発揮できる入試を選んでいますか？

近年、多様な能力をもつ人材の獲得を目的に、大学は複数の入試方式を準備しています。
入試方式が多様化したことで、受験生も入試のプランを組むことが難しくなっていることが特徴です。

東京都市大学では…

本学では4つの大きな枠組みの中で、多様な学生を受け入れるために、様々な入試制度を設定しています。
各入試制度では、調査・志望理由書・小論文・面接・科目試験などを組み合わせ、総合的に評価して選抜します。
つまり、受験生の力が最大限発揮できる入試を選ぶことが、実はとても重要です。

■東京都市大学の特徴的な入試（一例）

総合型選抜

例：学際探究入試

女子枠も含めた異なる3つの方式

学校推薦型選抜

例：公募制②グローバル志向型

英検2級以上で他大学と併願も可

共通テスト利用入試

例：5教科/6教科 基準点型

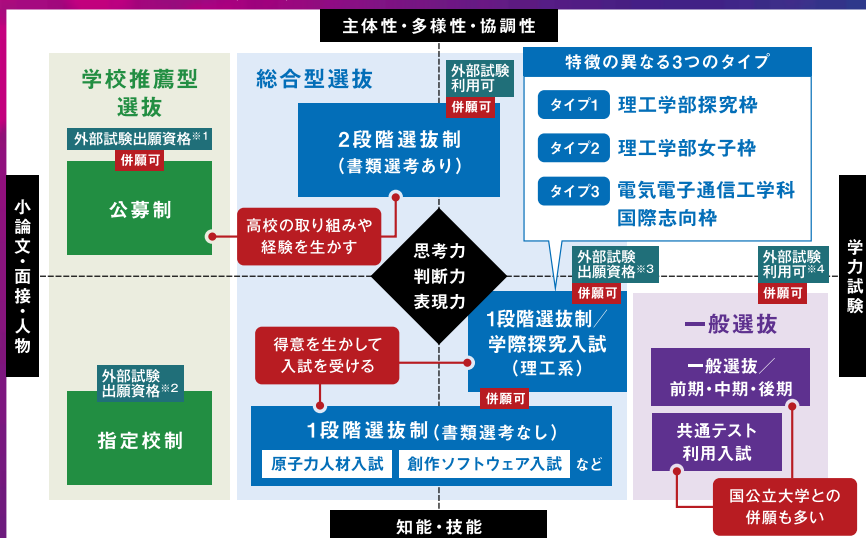
基準点以上で必ず合格！

一般選抜

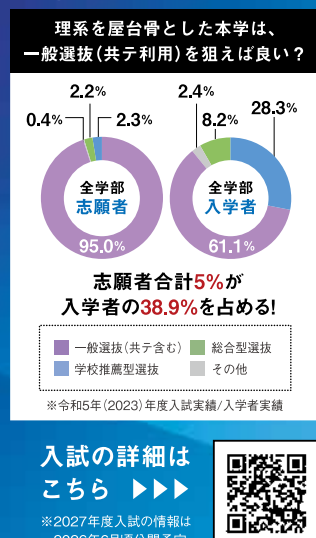
例：前期（探究問題・共テ併用型）

共テ2教科＋探究総合問題

■入試で求められる能力（一例）（2026年度入試での例）



■都市大の志願者／入学者の割合



※1 グローバル志向型のみ出願資格 ※2 一部学科のみ出願資格として外部試験が利用可 ※3 タイプ3のみ出願資格 ※4 一般選抜 前期・中期のみ対象
※掲載している入試は2026年度に実施の入試情報です。変更となる可能性がありますので、最新情報は公式サイトをご確認ください。